

## 第78回登別市市民自治推進委員会 育み部会議事録

(敬称略)

開催日時	令和6年1月29日(月) 18時00分～
開催場所	アーニス 2階 あえる STATION
出席者	(副部会長) 神谷博達 (部会員) 合田美津子、仲川弘誓、大坂倫一 (読書活動家) 松山哲男、河上邦子、藤原明日香、鎌田真理子 (庁内委員) 舘下貴子、下沢亮一 (事務局) 鳥海秀充、相馬杏
欠席者	(部会長) 大熊龍也 (部会員) 佐藤文子、磯田大治 (読書活動家) 武者正樹、松平孝子、 (事務局) 大越智輝
議題	育み部会絵本コーナーについて
配布資料	・第78回「育み部会」資料(部会長作成)

※読書活動家の方々にもご参加いただき、育み部会絵本コーナーについて協議した。

### ○会議の要点

#### 1 本日の協議

##### (1) 第24回絵本コーナー「ブックファームあーにす」の振り返り

- ・第24回絵本コーナーの読み聞かせ担当団体は「おはなしりぼん」
- ・10時30分から読み聞かせを始めた。
- ・読み聞かせを終了した11時30分ごろからおもちゃで遊びだした。
- ・いつもと同じで関係者の子供がきているような状況だった。

##### (2) 絵本コーナーの成果と課題

###### (副部会長)

- ・絵本コーナーの活動を開始し、約2年が経過したため、これまでの成果と今後の課題を話し合い、総括を行う。
- ・本日、部会に欠席された方についても、後日、振り返りシートをお送りし、記載いただくこととしている。

###### (読書活動家)

- ・総括を行うのであれば、どのように聞くのが良いか考えるとともに、事前に出席者へ協議内容を送るべき。欠席者についても、総括を行う日までに、事前に成果と課題をいただいておくべきではないか。

(副部会長)

- ・次の総括を行ううえで、検討させていただきたい。本日の部会については、事前準備ができていないため、この場にいる方で総括をできればと考えている。
- ・育み部会を進めていくうえで、どのように進めると良いか、具体的な方法や考えがあるのであれば、教えて欲しい。今いただいた意見のように、部会の進め方ややり方についても、いろいろな意見が自由に言い合える方が良い。

(読書活動家)

- ・現在の状況を見ると、絵本コーナーを始めて2年が経過しているが、現状来場者が少ない。関係者の家族が来ていることがほとんどという状況である。
- ・ただ回を重ねるだけではなく、読書活動家の連携や育み部会の中で課題を検討し、今後どのように進めて行くのが良いかを議論しなければならないと考えている。

(副部会長)

- ・育み部会では、市民に読書を広げるために活動を行っている。今、自分たちができることを考えたときに、この場所（あえる STATION）でブックファームあーにすを舞台に、読み聞かせなどの活動を行い、できればこれからがある小さな子どもたちに読書に触れてもらい習慣にしてもらおう事を目標にしていた。

(読書活動家)

- ・単純に考えて、関係者の来場者しかいない状況は良いとは思わない。子どもがいてこそその読み聞かせである。
- ・ただ、市の広報紙やLINE、新聞、乳幼児検診、市内の小中学校や保育園、幼稚園でも告知を行っており、当日についても、アーニス2階のダイソー前で呼び込みを行うなど、広報活動についてはすでに力を入れて取り組んでいる状況である。
- ・市立図書館で読み聞かせを実施しても、なかなか子どもが集まらない状況である。図書館でもこのような状況であること考えると、読み聞かせをするというだけで人を集めることが難しいのではないか。
- ・何か読み聞かせではない読書イベントを開催して、その中で読み聞かせを少し挟むような工夫をした方が人が来るのでは。
- ・読み聞かせに来たことがない人が、読み聞かせだけでこの場所に来るのはハードルが高い。
- ・読み聞かせだけで人を集めようとするのは難しい。
- ・人を集めようとする中の手段として読み聞かせ行う。
- ・前に市立図書館の3階で、わらべ歌や子どものヨガを実施していたかと思う。そのようなイベントの後などに読み聞かせを実施するのも良いだろう。
- ・この場でやるメリットは、読み聞かせだけではなく、読書にまつわる工作や遊びが行えることである。

(部会員)

- ・元々、このブックファームあーにすを拠点に読書の活動を広めようという話だった。この場の使い方次第で変わるのではないか。

(読書活動家)

- ・ 保育所で読み聞かせを行う時間が少ないという話を聞いたことがある。いろいろな関係者から話を伺うのも良いのでは。
- ・ 市のLINEを見て絵本コーナーに来ている人がいるのは事実。LINEでの周知によって来た来場者は確実にいて、その人がまた友達を連れて来てくれていた。少しずつでも広報活動の成果がでている。
- ・ 関係者や知り合いばかりが来ているとの話があったが、そもそものきっかけはLINEの情報だったということもある。今は辛抱の時期。
- ・ 保育園や幼稚園に子どもを通わせている保護者の口コミは大きい。まずはイベントなどを実施するなど、来てもらうことが必要になる。
- ・ 自分が読み聞かせを担当する会では、読み聞かせの他に、絵本にまつわる何か工作をしようと実施してきた。来たら作れる、何か貰える、などチラシでもポスターでも何か目を引く物を載せるのも良いだろう。

(部会員)

- ・ 育み部会で読書の活動を始めて、今読書活動家の皆さんと読書の活動を広めるため、この場所で議論を行えていることがまずは大きな成果だと思う。
- ・ 今のこの状況のやり方で、来場者が0人の日がないことも成果ではないか。
- ・ この会場を子育てサロンのような、何か他のことに使用してもらうのも良いだろう。場所の宣伝にもなる。
- ・ 絵本コーナーの前を通った親子を、引っ張って入れるような雰囲気作りはもう少し必要ではないかと感じている。そこのところを部会で話し合っていきたい。
- ・ 再三この活動は辛抱強く続ける必要があると言っている。
- ・ ご協力いただいている読書活動家の方の気持ちがすごく伝わってきているのが成果。しかし、来場者がいないことで、その気持ちが無くなってしまうことを危惧している。
- ・ 紙媒体での周知が時代遅れなのではないか。その方法ではだめなのではないか。
- ・ 市のLINEの周知を映像化してみるのはいかがでしょうか。

(読書活動家)

- ・ LINEの周知に関して、前日の周知もあると良いと思う。
- ・ 登別市の地区別の子どもの数は把握しているのか。アーニスがある幌別地区にいる子どもの数を把握し、登別市の人口などとも照らし合わせ分析する必要があるのではないか。

(部会員)

- ・ 子どもの数を分析しても、来場者を増やすことには効果が薄いと思われる。来場してもらえるような、選んでもらえるような工夫を検討していきたい。
- ・ 子どもたちと遊べそうな団体さんに心当たりがある。その団体が引き受けてくれると、他の団体と協力し合いながら、ブックファームあーにすを盛り上げて行けるのではと思った。

(副部会長)

- ・学生の参加の話もあったかと思うが、インフルエンザの影響で見送られている。また、学校が3学期に入ると、新型コロナウイルスの影響も出てきており、現在まで学生の参加には至っていない。

(3) 今後の予定

(ブックファームあーにすについて)

- ・次回、第25回ブックファームは2月17日(土) 10:00~12:00。

(のびのび公園の利活用について)

- ・のびのび公園の利活用に係るアンケートについて、現在集計中のため、次回の部会で実施結果を報告予定である。

## 2 次回の育み部会について

日時：令和6年2月26日(月) 18:00~

場所：アーニス2階 あえる STATION